今後の活動紹介

消費者ネットワークわかやま啓発講座

身近な消費者被害 みんなで学んで防ごう

日時：2024年11月16日（土）
13:30～16:00
講師：和歌山県消費生活センター相談員
場所：打田生涯学習センター・視聴覚室
参加：無料
※詳細については消費者ネットワークわかやまホームページにてご案内します。

第34回生協大会

日時：2024年12月５日（木）
13:30～16:00
記念講演
協同組合のアイデンティティに関する
ＩＣＡ声明について考える
―2025協同組合年に向けて―
講師：伊藤治郎氏
（日本協同組合連携機構常務理事）
場所：わかやま市民生協本部２階
E＊KAOホール
（和歌山市太田三丁目10-10）
参加：無料
※詳細についてはホームページにて、ご案内します。

ホットな 消費者 見守りニュース84号

～ 消費者被害にあわないための最新情報をお届けします！～

出典：2022年8月和歌山県消費者センター発行より抜粋

和歌山県消費生活センター
和歌山市手平2丁目1-2
県民プラザ和歌山ビッグ愛8F
電話：073-433-1551
FAX：073-433-3904
(月～金)9:00～17:00
(土・日)10:00～16:00(電話相談のみ)
(祝日・年末年始を除く)

和歌山県消費生活センター紀南支所
田辺市朝日ヶ丘23番１号
県西牟婁総合庁舎内
電話：0739-24-0999
FAX：0739-26-7943
(月～金) 9：00～17：00
(祝日・年末年始を除く)

※短縮ダイヤル☎188でもお近くの相談窓口につながります。

協同組合がよりよい社会を築きます

和歌山中央医療生活協同組合・わかやま市民生活協同組合・和歌山県学校生活協同組合・和歌山県労働者共済生活協同組合
オレンジコープ(泉南生活協同組合)・紀の国医療生活協同組合・和歌山大学消費生活協同組合・和歌山県立医科大学生活協同組合
和歌山高齢者生活協同組合・メルスィー生活協同組合・生活協同組合コープ自然派おおさか

和歌山県 生協連ニュース No.22

和歌山県生活協同組合連合会
TEL.073-474-9095　FAX.073-474-8649
http://www.wakayamakenren.jp/

2024年度の活動紹介

和歌山県生協連第34回通常総会を開催しました

６月25日、第34回通常総会をわかやま市民生協E＊KAOホールにて開催しました。代議員の出席は、実出席24人、委任出席３人、書面出席８人でした。
通常総会は、開会宣言、阿部会長理事の挨拶ではじまりました。
全議案を賛成多数で可決し、2024年度の活動方針や予算が決まりました。

役職員研修会で賀川記念館・人と防災未来センターを訪れました。

５月８日、生協で働く若手職員を中心に４生協19人が参加しました。神戸にある賀川記念館では、日本の生協の歴史や賀川豊彦について学びました。その後、阪神淡路大震災の「慰霊と復興のモニュメント」を訪れました。
また「人と防災未来センター」では、館内の展示品やシアターで自然災害の恐ろしさや震災に備える大切さを学びました。

和歌山大学寄附講義

若い人に労働運動・労働者福祉運動・協同組合運動、それぞれの使命と成果等について広めることを目的に寄附講義を実施しています。和歌山県労働者福祉協議会が和歌山大学から依頼を受けて講義を開設し、その構成団体として和歌山県生協連も講義を受け持ちました。(6月13日ＪＣＡ「協同組合の基礎知識」、6月20日市民生協「生協の社会的役割の発揮」、6月27日和歌山中央医療生協「医療福祉生協入門」)

役職員研修会「監事研修会」で監事の職務と責任について学びました

７月17日、会員生協の役員や監事の職務と責任について学ぶ機会として監事研修会を開催しました。
和歌山県県民生活課より毎年実施されている指導検査の結果から、近年検査で指摘した事項について、生協法などに抵触する事項や、定款に抵触する事項など事例をもとに解りやすく説明いただきました。さらに、日本生協連法務部より年間時系列による監事監査のポイントについて学びました。

能登半島地震 復旧支援ボランティア参加

大阪府連から参加のよびかけがあり、わかやま市民生協と協議し市民生協主催で開催することとし、和歌山県生協連として会員生協に６月に２回(１回目10人、２回目４人)参加をよびかけました。
午前は、能登町ボランティアセンターで片付けの手伝い、搬出を行ないました。午後は、輪島市の「スーパーもとや」で炊き出しを行ないました。

和歌山県 生協連合会の 会員生協 2023 活動紹介

＊数値は2024年３月現在
＊泉南生協、コープ自然派おおさかは、和歌山県内の数値です。

和歌山中央医療生活協同組合

■組合員数:23,379 人
■総事業高:4,003,533 千円
■住 所:和歌山市有本143-1

2023年度和歌山中央医療生協は、医療や福祉の事業を柱に「誰もが健康で居心地よくくらせるまちづくり」をすすめました。地域に協同の輪をひろげる取り組みでは健康チェック班会や多彩なサークル活動、平和まつりやバスツアーも実施しました。

また助け合いの活動として、ひとりぼっちをなくす各地域での「カフェ」開催や、2023年度も「フードバンク＆くらしのなんでも相談会」を２回開催し、地域との協同と繋がりが深まりました。

和歌山県学校生活協同組合

■組合員数:8,308人
■総事業高:62,272千円
■住 所:和歌山市小松原通3-20

和歌山県学校生協は、より良い商品を安く提供し、教職員のくらしと教育活動をサポートするために、チラシ媒体による供給事業と生活全般に渡るサービス関連事業等を行っています。また、学校生協を知っていただくきっかけ作りと、災害被災地や福祉活動などへの支援を行うために、年２回「利用運動」を実施しています。「利用運動」の供給高の一部を災害支援等に寄付を行っています。また、最近20代30代の教職員が増えているので、住宅づくりのサポートとして「ハウジングセミナー」に取り組んでいます。今後とも教職員の教育活動やライフサポートを中心に行っていきます。

和歌山大学消費生活協同組合

■組合員数:4,478人
■総事業高:410,738千円
■住 所:和歌山市栄谷930

全国の大学キャンパスでは、まだ一部の講義で対面とオンラインを組み合わせた「ハイブリッド型」講義を運用しており、キャンパス内の人口減少は前年と比較した場合でも大きく改善したわけでなく、厳しい状況が続いています。

コロナ禍以降も、「物流問題」、「システム改修」、「経費削減」等、多くの課題に取り組んでいますが、学生、教職員の皆様には十分なサービスは提供できていないのが現状です。

今後は事業環境が厳しい中でも、組合員の利用満足度に繋がる行動を積極的に推し進めていきます。

和歌山県立医科大学生活協同組合

■組合員数:1,628人
■総事業高:216,071千円
■住 所:和歌山市紀三井寺811-1

今年度も、コロナ禍の影響で昨年同様、事業環境としては厳しい状況にあります。このような中でも、従業員一人一人が知恵を出し合い行動することで、少しでも店舗が活性化できるよう取り組みを継続しています。それらの活動を通して、より一層大学内の福利厚生の貢献に繋げ、組合員が安心して勉学、研究に励めるよう、事業活動の高次化を進めています。

和歌山高齢者生活協同組合

■組合員数:4,072人
■総事業高:387,495千円
■住 所:和歌山市直川565-7

人生の完成期、輝いて生きる！――。当生協が設立時から掲げるスローガン実現に向け、様々な活動に取り組んでいます。

組合員活動拠点では健康体操や歌う会などを開催し、身の回りの困りごとを元気な高齢者が解決する「お助け隊」も活躍中です。いつまでも安心して暮らしていけるよう、介護・障害福祉事業にも力をいれており、2024年度末には、組合員、職員らが集う初の「組合員活動大交流会（仮称）」を計画しております。

和歌山県労働者共済生活協同組合

■組合員数:89,605人
■総事業高:8,421,942千円
■住 所:和歌山市美園町5-10-3

和歌山労済（こくみん共済coop 和歌山推進本部）は、「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」という理念のもと、幅広く共済事業を展開しています。

2023年度は、こくみん共済の誕生40周年を記念した「組合員感謝イベント（ミュージカルオズの魔法使い・ミニライブ）」を開催し、842名の組合員に参加いただく事ができました。

わかやま市民生活協同組合

■組合員数:99,994人
■総事業高:13,217,052千円
■住 所:和歌山市太田三丁目10-10

わかやま市民生協では、組合員（県民）のくらしに貢献することをめざし、行政や団体と連携し、和歌山県社協と協定を締結し子ども食堂への食材などを寄贈。地域の課題の解決に協力していくためこれまで、橋本市、由良町、御坊市と包括連携協定を結びました。このほか、農業を守ろうという実験の体験農園からはじまり空き家を活用した地域の居場所づくりなどもすすめています。

また、商品値上げが相次ぐ中で「くらし応援キャンペーン」として、CO・OP商品を中心に物価上昇が続く状況の中、宅配や店舗での購入に対する組合員のくらしを応援するため、商品を選定し特別価格で提供しています。

紀の国医療生活協同組合

■組合員数:1,317人
■総事業高:443,087千円
■住 所:和歌山市今福2-1-16

紀の国医療生活協同組合は医療と福祉、及び協同施設の利用事業を通じて組合員をはじめとした地域社会の健康と幸福を支えるべく活動しています。

2023年度に限らず当組合員活動は継続していますが、新型コロナ感染症が５類相当となってはじめての年末を迎えるにあたり、規模は小さめながらも年末もちつき大会を地域住民と共に３年ぶりに開催しました。2024年度以降はこの他様々な組合員活動をコロナ禍前に戻し、凄まじい速さで移り行く時代に対応した活動を模索してまいります。

オレンジコープ（泉南生活協同組合）

■組合員数:1,773人
■総事業高:678,910千円
■住 所:大阪府泉南市信達岡中1489-10

■2022年８月に開所した大阪府泉南郡熊取町のサービス付き高齢者向け住宅「おひさま熊取」は2024年４月に満室になりました。堺市から和歌山市にみのり（介護付き住宅）４棟、マスターズマンション（分譲）３棟、おひさま（サービス付き高齢者向け住宅）３棟を運営し、約1,000名の方が入居されています。さらに障碍者グループホームが３棟あり、16名の障碍者が共同生活をしています。
■阪南市に４棟目のサービス付き高齢者向け住宅「おひさま阪南」の建設に向けて準備を進めています。全71 室で和歌山市の「おひさま東」と同じ部屋数になります。開所は2025年秋以降の予定です。
■入居者の食事や社会福祉法人野のはなが運営しているレストラン、喫茶店で使う野菜はほとんどが市販品です。それを生産者の顔が見える野菜に切り替える取り組みを始めました。具体的には新たに泉南市や岩出市など近隣の若い生産者を増やしたり、貝塚市にある森の小径の畑の拡大を進めています。

メルスィー生活協同組合

■組合員数:6,407人
■総事業高:489,462千円
■住 所:和歌山市湊1850番地

メルスィー生活協同組合は、日本製鉄（株）関西製鉄所（和歌山地区）において「職域生協」として製鉄所構内で働く従業員の福利厚生施策のため、1952年に設立されました。現在、売店は９店舗（和歌山-７店、海南-１店、堺-１店）展開しています。幾多の困難もありましたが、組合員の皆様方からのご支援と協力に支えられて、創立73年を迎えました。新型コロナ対応も緩和され一部店舗では以前より営業時間を延長していますが、お客様の来店が以前のようにまだ戻っていないのが現状です。各種イベント、行事は少しずつですが戻って来ているようです。「もっと便利に、簡単に」「より親しみある」メルスィー生協を目指し 役職員一同、日々の業務に励んでいます。

生活協同組合コープ自然派おおさか

■組合員数:9,139人
■総事業高:1,118,928千円
■住 所:和歌山県和歌山市岩橋998
（本部：大阪府茨木市島1丁目12-37）

コープ自然派おおさかは、食の安心・安全と農業を次の世代へとつないでいくために「国産派宣言」を掲げ「誰もが有機農産物を食べることができる社会づくり」をめざしています。「学校給食にオーガニック食材を」という取組や支援が必要な家族や施設を対象に食材をお届けする取り組み「子ども笑顔基金 プロジェクト」も継続し実施。

また、11月２日（土）にビッグ愛にて生産者をお呼びして【おいなぁよマルシェ】のフェスタを開催予定となっています。